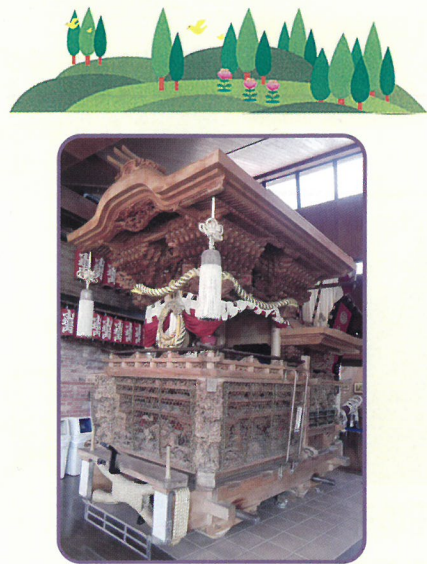


# 熊取あれこれ「だんじり祭り」

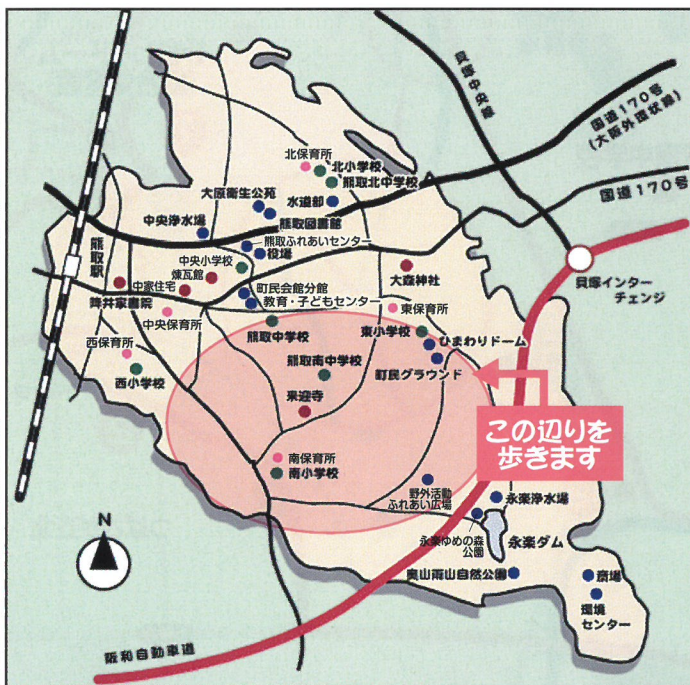
大森神社の秋祭り(10月上旬の土・日曜日)には、毎年氏子地区より11台の地車(だんじり)が曳きだされます。その歴史は1841年(天保12)に五門・小垣内・宮(現大宮)・大久保・小谷・七山・和田・朝代の八か村が地車を所有していたと古文書に記されています。その後、紺屋・野田・久保が加わりました。平成22年に小垣内の地車が新調されましたが、その際にそれまで所有していた地車が町に寄付され、煉瓦館に展示されています。初日の宮入り、そして2日目の熊取駅前のパレードには、多くの住民が見物に集まり、駅前ロータリーは人、人、人の波となります。



## 健康くま隊って?

正式名称は「健康くまどり探検隊」です。

第2次健康くまどり21(平成26年3月策定)の推進として「ひとりひとりがいきいきと豊かに暮らせる健康まちづくり」を目指し、健康を幅広い視野で捉えて自分と地域みんなの健康づくりに役立つ活動の企画や実践をしている健康づくりグループです。町内ウォーキング、マップ作り、地域のウォークラリー協力、体力チェックの実施などを行っています。メンバーはこの活動に賛同する町民によって組織されています。事務局は、熊取町健康・いきいき高齢課(TEL 452-6285)です。興味のある方は是非お問い合わせください。



## 健康ウォーキングメモ... ウォーキングで五感を刺激しよう!

健康づくりのためにウォーキングをする人が多くみられますが、その目的や効果は、からだを鍛えるためだけではありません。脳の活性化のためにもたいへん良い運動で、足からは常に歩く振動が伝わり、足の裏も刺激し、体に感じた刺激は、脳へも刺激を与えます。

ウォーキングは脳の血流をよくするとともに、五感も刺激されるといわれています。五感とは、視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚のことで、近頃さまざまな要因で感覚の低下傾向を危惧されることもありますので、ウォーキングによって、これらの感覚を刺激しながら体力づくりもでき、一挙両得といえるかもしれません。

ウォーキングに出かけると、周りの景色もどんどん流れていきます。町の今昔の移り変わり、自然に咲く花、手入れされた花壇などを見ながらウォーキングすると、そういった情報も目から脳に入っていきます。工場の音、鳥や虫の鳴き声など耳からもいろいろな音が入ってきます。またさわやかな風、冷たい風など自然の風を感じ、めずらしい葉っぱに触れてみることも触覚を刺激します。匂いはどうでしょうか。花の香り、おいしそうなお家のにおいの匂い...このように、ウォーキングをしながら五感を刺激することができます。

同じコースでも、季節によって違い、新たな発見があるかもしれません。イヤホンをして音楽を聴きながら歩く方もいますが、時にははずして、五感をフルに使ってみませんか?

歩いて・見て・感じて...くまどり再発見!

けん こう ある みち シリーズ 9

# ものしり健康歩く路

~ひまわりドームから大体大を経て  
街道(粉河・東日根)にふれるウォーキングマップ~

行程:約7km  
時間:約120分



このマップは「健康くま隊」のメンバーが「くまどりをもっと知ってほしい」という願いから、まちにある昔からのなつかしい路を、テーマ別にわかりやすく解説し、シリーズにしていくものです。是非、日頃のウォーキングロードの途中に加えてください。

このコースは、ひまわりドームをスタート・ゴールとする、町の南部を横断するルートで、町の中を流れる4つの川(雨山川、和田川、住吉川、見出川)を見る事が出来る、今昔まわりの雰囲気味わえるコースです。

### ひまわりドーム

平成8年(1996)11月に開館した町立総合体育館。翌年10月の第52回国民体育大会「なみはや国体」でバレーボール会場として華々しくデビュー。平成23年(2011)7月には町制施行60周年記念事業の一環として「NHKのど自慢」がライブで全国放映されました。町の花「ひまわり」をモチーフとした外観が印象的です。

### つばさが丘からの眺望

開発総面積約64ヘクタール、計画戸数1300戸を目指して宅地開発されたつばさが丘。この丘陵地から北方への眺望、特に北端にある7号公園からの眺めは、眼下にわが町を見下ろせ、関西空港から大阪湾、明石海峡大橋、さらに淡路島や六甲の山々まで見渡せます。昔風に言えば「100万ドルの眺望」に値する大パノラマのようです。

### 大阪府熊取オフサイトセンター

原子力災害が発生した時、原子力事業者は住民の安全確保をはじめとして、さまざまな応急対策が必要となります。それには国・大阪府・関係市町・原子力事業者・専門家などが一体となって対応し、関係者が一堂に会して、情報を共有しながら対策に当たる為の拠点になるのがこの施設です。府下には東大阪市にも存在します。

### 町内の東粉河(東日根)街道

ほぼ、今の「朝代和田大宮線」の道路です。泉佐野打田線の朝代信号から朝代大橋を渡って直進して行きます。和田川に架かる祇園橋を渡って右折し、和田川に沿って進むと桜の老木に突き当たります。左へカーブし、町立東保育所前の信号を直進して行くと、旧170号線の水間道に出ます。直進して小垣内から七山方面へ行けば東粉河街道、右折して小谷から水間寺へ行くのが東日根街道となります。